

桐生市議会 創志会 行政視察報告書

視察都市	青森県 青森市
視察日時	令和 4 年 4 月 19 日 (火) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分
訪問先	ねぶたの家ワ・ラッセ 〒030-0803 青森県青森市安方 1-1-1 Tel. 0177-52-1311
参加者	人見武男 佐藤光好 園田基博 石渡宏明 北川久人 工藤英人
視察項目	文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセについて

## ■ 視察内容:

## ◎ 面談者:

なし

◎ ねぶたの家 ワ・ラッセ: <http://www.nebuta.jp/warasse/>

- ・次拠点移動の途上、青森市が管理する文化観光交流施設、「ねぶたの家ワ・ラッセ」を視察。当該施設は2011年1月、JR青森駅ホーム東側に広がる青森ウォーターフロントエリアにオープン。豊富な資料、情報コーナー、各種展示等をとおして、街の発展を支えてきた「ねぶた」の歴史、文化伝統芸能を学ぶことのできる総合施設となっている。
- ・「ねぶたの家」… 青森市民の生活に根づく「ねぶた」が住む「家」があることで、「ねぶた」が祭期間中の一時的なものではなく、通年をとおして青森市民と一緒に暮らし生活をし、市民の一人である、という意味合を持たせている。
- ・「ワ・ラッセ」… ねぶたの掛け声である「ラッセラー」と「笑い」の他に、ねぶた祭での人と人の『和』や調和の『和』、また、ねぶたを通じた活動により育まれる市民の『環』をコンセプトとしている。
- ・コロナ禍を背景に過去2年間は開催が見送られているが、令和4年度については開催の予定で推進中とのこと。

## ◎ 施設館内視察の様子:



↑ 施設全景

↑ 「ねぶた」のルーツを辿る回廊



↑ 圧巻のスケール、色鮮やかに躍動をする「ねぶた」展示の数々

## ■ 視察成果による当局への提言または要望等:

その会館規模や展示品の見せ方（魅せ方）について一貫をして、地域住民に根付いた伝統、もはやなくてはならない「魂」、ソウルとも呼べるものを直接に肌で感じることができた。無論ながら祭りの発祥や歴史、規模や集客、財政力において違いはあるにせよ、地域の住民の心に宿る「想い」については同様の共通点があることは間違いないと考える。桐生にあってはいま何があつて

ないのか、実現できている中で出来ていないことはどういうことであるのか、背丈に見合った手法を知恵と工夫を駆使することで、いま現在散在・散逸し、時に陽の目を見ることなく眠ってしまったままにある銚や神輿等といったかけがえない財産の未来に向けての有効活用策を探り出すための道しるべとして、鋭意の参考事例として頂きたい。

以上